

畑と生きていく、 覚悟。

ツバキ農園 代表 椿龍平 Tsubaki Ryuhei



2020年、埼玉県から筑西市へ移り、梨づくりをはじめた椿さん。

祖母の故郷・花田地区との縁を辿り、25歳で新規就農しました。

現在は約1ヘクタールの梨畑で、約800本の梨の木を育てています。

「正直、心が折れそうになる日もありますよ」と語る椿さん。

猛暑の年には、朝ついた実が夕方には傷んでしまう。自然を相手にする仕事の厳しさを、何度も突きつけられてきました。それでも畑に立ち、1本1本の木を見て、考え、手を入れ続けます。やり方次第で、梨は人の手にちゃんと応えてくれると信じているから。

そして、「畑は、つないでこそ意味がある」と椿さんは言います。

実りのある畑を自分の代で終わらせず、次に挑戦する人へ手渡したい。

その覚悟を胸に、今日も梨の木の間に歩きながら、筑西市の農業の未来を思い描いています。

■ 椿さんのおすそわけは、
就農したい人にアドバイスすることです。

連絡先は、メール：tsubaki.nouen@gmail.com